



## 平成26年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書

### 大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業

(担当：企画会議)

#### 1 「高等教育山形宣言」プロジェクト

平成22年2月23日に発表した「ゆうキャンパス—学長等共同宣言 美しい山形から「もう一つの人づくり」を目指して」の内容を実現するため、学生が企画・実施する「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」を6件実施。

○平成26年度 採択プロジェクト一覧

##### 1. Represent 温泉（助成額 150,000 円）

◆Represent 温泉実行委員会 代表 久松 知子（東北芸術工科大学）

【内容】温泉施設で美術作品の展覧会「レペゼン温泉」を開催する。温泉施設にアートを展示することで、入浴を目的として日常的に温泉を利用する人々に、アートを介して心身のよわらぎが増したり、見慣れた場所での新しい表現との出会いを楽しんでいただく。

期間・： 9月1日（月）～9月30日（火） 山辺町温泉保養センター

会場 9月20日（土）～10月4日（土） 臥龍温泉保養センター、ひまわり温泉ゆ・ら・ら  
10月1日（水）～10月19日（日） 健康天然温泉八百坊

##### 2. ほっと一息～ままティータイム in 金山町～（助成額 119,560 円）

◆Team 道草ままティープロジェクト 代表 引地 貴之（山形大学）

【内容】子育てに励むママ達が“ほっ”と一息つけるようなくつろぎの場づくりをする。参加する学生もまま目線で企画を考え、運営・実施することで子育ての課題を知り、将来自分が親となったときの姿勢について考えるきっかけともなる。七夕飾りづくり、カレンダー作り、雪遊び、絵本の読み聞かせなどを開催。

期間：5月～3月

会場：金山町中央公民館ほか

##### 3. 「人の幸せ・元気につながるまちづくり」大学事例プレゼンテーション交流会（助成額 130,378 円）

◆まちづくり企画研究会 代表 松田 蓮（東北芸術工科大学）

【内容】大学生が主体となった大学間の柔軟な新しいネットワークをつくり、「人の幸せ・元気のためのまちづくり」の本質的実現に向けて企画と実践を支援し合う柔軟な組織づくりを目指す。横浜国立大学の学生と院生を招き、東北芸術工科大学有志及び山形の各大学学生有志とともに各大学生が主体的に取り組んでいる「人の幸せ・元気のためのまちづくり」に関連するプロジェクトの企画・実践

例をお互いにプレゼンテーションし、本格的に意見交換を行う。

日時：平成26年9月2日（火）14:00～17:00

会場：東北芸術工科大学

#### 4. SCITA 発未来宛て～育て！東北の科学のメ（眼・芽）～（助成額 150,000 円）

◆山形大学 SCITA センター学生スタッフ 代表 湯田 隼人（山形大学）

【内容】子どもの理科離れを解消し、また、幅広い年代の方々に科学の楽しさを体験してもらう。イベント会場でブース出展を行い、身の回りの科学現象を体感してもらう。ブース出展を通し、多くの来場者やイベント運営スタッフとの対話を通し、対外的なコミュニケーション能力を培い、学生自身の大きな成長を図る。

期間：8月～3月

会場：石巻市ほか

#### 5. スマイルエンジンプラス（助成額 150,000 円）

◆スマイルエンジンプラス 代表 高橋 悠真（東北芸術工科大学）

【内容】震災から3年が経ち、メディアなどでの報道が徐々に減りつつありますが、現地での復興は完了していないのが事実です。現在支援を必要とし、未来へと意識を向け始めた人が多くいます。そういった方々の支えになれたらという想いのもと、復興ボランティア「スマイルエンジンプラス」の活動を行う。日曜奉仕団、蛤浜再生プロジェクト、スタディツアーに参加ほか。

期間：6月～3月

会場：陸前高田市、石巻市ほか

#### 6. 最上留学プロジェクト（助成額 131,119 円）

◆最上学生団体ともしび 代表 平井 裕士（山形大学）

【内容】学生が最上地域を訪問し、地域の方々と一緒に活動することで地域活性化に寄与する。真室川町などの諸地域における活動（商店街探訪、食事会等）、山形あつまり EXP02014 でのもつらボ屋台運営活動、鍋合戦での最上元気研究所の補助、最上町での祭への参加。これらの活動をパネルにし、公共の場所に展示し情報発信を行う。

期間：11月～3月

会場：真室川町、舟形町、最上町、村山市ほか

## 2 企画会議主催プロジェクト

「ゆうキャンパス・ステーション」を中心に、「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」を企画・実施する。

(1) 「やまがた夜話」 参加者数 総計 延924人

5月～2月の毎週水曜日（変則開催有）18:30～19:30に「ゆうステ」で開講。



○テーマ・参加人数等

- 5月 映画と地域：映画を用いた地域の記録と地域づくり 5回開催 延100人
- 6月 続・草木等—草木等と日本人— 4回開催 延79人
- 7月 『あまちゃん』の東北 4回開催 延111人
- 9月 越冬隊員が語る『南極観測物語』 4回開催 延161人
- 10月 続・最上川を学ぶ 4回開催 延118人
- 11月 放送大学公開講演『いろいろ教養講座』 6回開催 延128人
- 1月 日常生活の健康科学 4回開催 延91人
- 2月 続・月山に学ぶ 4回開催 延136人

(2) その他、各種講習会・イベントの企画・実施

1. ビブリオバトル首都決戦2014の開催

「知的書評合戦 ビブリオバトル2014 in やまがた」

日 時：平成26年11月15日（土） 10：30～12：30

会 場：ゆうキャンパス・ステーション

参加者数：13人

2. 山形大学男女共同参画シンポジウムの共催

男女共同参画国際シンポジウム

「グローバル化時代の男女共同参画」

日 時：平成27年2月19日（木）

13：30～16：30

会 場：山形大学基盤教育3号館312教室

参加者数：62人（女性35人 男性27人）

内 容：第1部 講演

◆基調講演「男女が共に輝くために」

講師：高松和子（公益財団法人21世紀職業財団事務局長）

◆特別講演「韓国における理工学分野の女性研究者増加策と支援」

講師：Dr. Mal-Shick Shin（韓国全南大学教授）

◆山形大学報告 木村松子（山形大学男女共同参画推進室准教授）

第2部 パネルディスカッション

「グローバル化時代の大学における男女共同参画」



パネリスト：Dr. Mal-Shick Shin

黒谷玲子（山形大学理工学研究科准教授）

神田あずさ（山形大学地域教育文化学部4年生）

コーディネーター：阿部宏慈（山形大学男女共同参画推進室長）

### 3. 小学生を対象とした体験型学習の開催

小学生対象体験学習イベント

「イヌワシふれあい体験 in やまがた」

日 時：平成26年11月9日（日）

場 所：ゆうキャンパス・ステーション及び  
山形駅西地区開発事業用地芝生ゾーン

参加者数：第1部38人 第2部97人



内 容：第1部 講演

「多様な生き物たちと共生するために」

講師：林田光祐（山形大学農学部教授）

第2部 体験学習

「イヌワシと触れ合おう」

講師：高橋 誠（イヌワシの森倶楽部 代表）

松原英俊（日本唯一の現役・鷹匠）



### 4. プロスポーツを活用した中山間地域活性化活動の開催

モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会 in 大蔵

日 時：平成27年2月22日（日）

場 所：山辺町大蔵地区

参加者数：112人（選手72人・スタッフ40人）



## 連携事業

（担当：事務局）

### (1) 単位互換の推進

1. 単位互換推進チラシ等を作成し、協定校へ配布した。
2. 単位互換受講者数 前期41人 後期27人 合計68人。詳細は下記のとおり。
3. 「ゆうキャンパス単位互換」履修学生交通費支援制度を創設した。  
交通費支援制度利用者数 後期 7人  
（東北公益文科大学 5人 山形県立米沢女子短期大学 2人）

<前期>

派遣大学等	受入大学等	科目名	人数
山形大学	東北芸術工科大学	芸術心理学	1
		起業論	1

山形大学	東北芸術工科大学	プロジェクト型演習2(起業演習)	1
山形大学	東北公益文科大学	アントプレナーシップ論 a	1
東北芸術工科大学	山形大学	山形を元気にする企業家に学ぶ -ホンモノの地域貢献と地域活性化とは何か-	2
		感じる山形3～教科書の向こう側へ～	2
		<楽しく木の根の坂へ>プロジェクト	1
		大蔵地区地域の活かし方	2
		リーダーシップ入門1	1
		リーダーシップ入門2	1
東北公益文科大学	山形大学	リーダーシップ入門1	4
		リーダーシップ入門2	2
		“山形ほっぺ隊”とともに仙山交流を考える	1
		感じる山形3～教科書の向こう側へ～	3
		地域デザイン in 東沢バラ公園	2
東北文教大学	山形大学	感じる山形3～教科書の向こう側へ～	5
東北文教大学短期大学部	山形大学	地域デザイン in 東沢バラ公園	5
山形県立米沢女子短期大学	山形大学	リーダーシップ入門1	2
		リーダーシップ入門2	2
山形県立米沢女子短期大学	放送大学	生物圏の科学(’12)	1
放送大学	東北芸術工科大学	日本・東洋美術の見方、東北と自然環境	1
前期合計			41

<後期>

派遣大学等	受入大学等	科目名	人数
山形大学	東北芸術工科大学	都市計画	1
		起業家ビジネス論	1
		文字とグラフィックデザイン	2
東北芸術工科大学	山形大学	リーダーシップ応用1	1
		リーダーシップ応用2	1
		感じる山形4～教科書の向こう側へ～	3
		実践的コミュニケーション学	1
		「課題解決」入門	1
東北芸術工科大学	東北文教大学	地域作りとその手法	1
東北芸術工科大学	放送大学	日本語からだどる文化(’11)	1
		消費者と証券投資(’11)	1
		経済学入門(’13)	1
		西洋音楽史(’13)	1
		和歌文学の世界(’14)	1
東北公益文科大学	山形大学	リーダーシップ応用	4
		課題解決入門	1

山形県立米沢女子短期大学	山形大学	総合講座 I (公共政策)	1
		政治学入門	1
		法と裁判	1
		リーダーシップ応用1	1
		実践的コミュニケーション学	1
後期合計			27

## (2) 大学等進学説明会

高校生の進学意識形成や進学選択を支援するとともに、コンソーシアム加盟機関への進学率アップを目指して「大学等進学説明会」を開催した。

平成26年度開催高校数 13校

	高校名	期日	内容	対象及び人数	参加大学等
1	県立新庄神室産業高校	2014.5.20(火)	模擬講義と個別相談	3 学年進学希望者 15 名	羽陽学園短期大学、東北芸術工科大学、県立産業技術短期大学校(山形校)、県立農業大学校(4校)
2	県立小国高校	2014.5.28(水)	進学相談会	2~3 学年の進学希望者 26 名	羽陽学園短期大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学短期大学部、県立保健医療大学、県立米沢女子短期大学(含 県立米沢栄養大学)(6校)
3	県立米沢工業高校	2014.6.4(水)	進学相談会	3 学年進学希望者 34 名	羽陽学園短期大学、東北芸術工科大学、東北文教大学短期大学部、県立産業技術短期大学校(山形校)、県立保健医療大学、山形大学(6校)
4	県立米沢商業高校	2014.6.19(木)	進学相談会	3 学年希望者 12 名	東北芸術工科大学、東北文教大学短期大学部(2校) 5 校の参加依頼があったが、調整の結果、2 校のみ参加となった。
5	酒田南高校	2014.6.20(金)	全体説明、分野説明 (2 回開催)	2~3 学年 延 119 名	羽陽学園短期大学、東北公益文科大学、県立産業技術短期大学校(庄内校)、県立保健医療大学、山形大学(5校)
6	庄内農業高校	2014.7.9(水)	進学相談会	3 学年希望者 13 名	東北公益文科大学、県立産業技術短期大学校(庄内校)、県立農業大学校、山形大学、東北文教大学短期大学部(5校)
7	新庄東高校	2014.7.9(水)	進学相談会 (2 回開催)	2 学年進学希望者 延 50 名	羽陽学園短期大学、東北公益文科大学、東北文教大学短期大学部、県立産業技術短期大学校(山形校)、県立保健医療大学、県立米沢女子短期大学、山形工科短期大学校、山形大学(8校)
8	県立谷地高校	2014.9.18(木)	模擬講義	1~2 学年全員、3 学年希望者 153 名	羽陽学園短期大学、東北芸術工科大学、東北文教大学短期大学部、県立保健医療大学、山形大学(5校)
9	県立新庄南高校	2014.9.18(木)	模擬講義	1~2 学年全員、3 学年希望者 293 名	羽陽学園短期大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学・同短期大学部、県立保健医療大学、山形大学(6校)
10	県立楯岡高校	2014.10.8(水)	模擬講義 (2 回開催)	1~2 学年全員 290 名	羽陽学園短期大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、県立保健医療大学、県立米沢栄養大学、山形大学(6校)

11	山形北高校	2014.11.27(木)	進学相談会	1 学年および保護者 242 名	県立保健医療大学、県立米沢栄養大学、山形大学(3校)
12	県立鶴岡中央高校	2014.12.10(水)	進学相談会	2 学年生徒 128 名	東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学・同短期大学部、県立保健医療大学、山形大学(5校)
13	県立北村山高校	2014.12.11(木)	進学相談会 (2 回開催)	2 学年進学希望者 延 56 名	羽陽学園短期大学、東北芸術工科大学、東北文教大学・同短期大学部、県立産業技術短期大学校(山形校)、県立保健医療大学、山形大学(6校)

### 教職員の交流事業

(担当：事務局)

「第11回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」へ参加した。

期間：平成26年9月13日(土)～14日(日)

会場：いわて県民情報交流センター アイーナ

共通テーマ：「大学間連携と地域活性化への取り組み」

### 紀要等の電子化公開支援事業

(担当：事務局)

構成校の紀要等をゆうキャンパス・リポジトリにおいて、電子化して公開する。最小限の維持経費として電子化作業経費を充てた。

### 広報事業

(担当：事務局)

#### (1) ゆうキャンパス広報リーフレット等の作成

大学コンソーシアムやまがたの事業及び加盟校を簡潔に紹介するリーフレットを刷新し県内高等学校等へ配付した。また、広報グッズとして、名入り付箋紙を作成した。

#### (2) ゆうキャンパスホームページ等の充実・管理

HPの内容を随時更新し、内容を充実させた。

#### (3) ゆうステの充実

学生主催事業として、「学び場プラス」を定期的で開催した。

取組内容：大学生がゆうキャンパス・ステーションを会場に小中高生を対象とした学習支援を行った。(24回開催)

ゆうキャンパス・ステーションでの情報提供を継続。加盟校の学校案内、各種イベントポスター・チラシ、地域情報の提供を行った。

## 受託事業

大学間連携共同教育推進事業「美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座」の展開」の一部事業の実施（担当：山形人材育成委員会）

山形大学が代表校で申請した文部科学省大学間連携共同教育推進事業の採択を受けた事業名称：「美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座」の展開」に係る以下の事業を展開した。

### 1. 委員会・部会等の開催

- ・山形人材育成委員会の総会、企画運営部会、共同教育部会、連携取組評価部会等の開催。
- ・平成26年度成果報告フォーラムの開催。

山形講座を講座関係者以外の教職員、学生及び山形県民に周知するため開催し、平成26年度の事業経過や内容を情報共有し、学生の社会人力育成のあり方等について意見交換を図り、また本事業の中間評価のような視点からも内容を盛り込んで今後の事業に反映させるため実施した。

### 2. 連携取組評価

- ・連携取組評価部会等の開催をとおして、本事業（連携取組）及び共同教育プログラムの評価を行った。

### 3. 共同教育FD事業

- ・共同教育FDの開催

社会人力育成山形講座の共同教育評価をテーマとして開催し、共同教育の内容やその評価の成果や諸課題を議論することにより、担当教員の意識の改善や意欲の向上あるいは共同教育の情報共有を図るとともに、学生の学習・教育効果を高めるため実施した。

### 4. 広報事業

- ・連携取組に関わる広報活動関連事項
- ・単位互換制度活用関連事項（社会人力育成山形講座パンフレット、ハンドブックの作成）  
ハンドブックは各大学等の学生に山形講座の受講を推進するために発行。パンフレットは主に地域・企業向けの周知のために発行した。
- ・社会人力育成山形講座ニュースレターの作成

ニュースレター「山形講座通信」を8月、1月、3月の計3回発行。

### 5. その他関連事業

- ・当該事業に必要な関連業務

## 共催・協力事業

【共催】 山形大学

事業名：ビブリオバトル2014 in やまがた



【共催】 山形大学  
事業名：山形大学男女共同参画国際シンポジウム

【共催】 山辺町  
事業名：モンテディオ山形杯 雪中棚田サッカー大会 in 大蔵

【協力】 日本一さくらんぼ祭り実行委員会  
事業名：日本一さくらんぼ祭り



以上